

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 31 日

事業名称		認定こども園事業費 [認定こども園事業]									
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費	事業番号	6
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	保育 課 管理・給付 係 課長名 関田 孝志										
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	認定こども園を利用できる世帯 →				0~5歳の児童数(4月1日時点)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
保護者は育児と仕事の両立、児童は適切な保育を受けられる。 →				認定こども園を利用している児童数							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
市内に住所がある児童が認定こども園を利用した際、当該認定こども園の運営者に補助金を交付した。 →				認定こども園における補助金交付対象児童数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	4,426	4,321	4,167					
	成果指標	②の数値	延人	5,638.0	6,012.0	5,748.0					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方									
		活動指標	③の数値	延人	5,638	6,012	5,748				
3 経費	事業費(実績)		円	263,703,885	294,968,989	345,673,374	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	97,742,625	103,810,007	107,267,495					
		特定財源	円	165,961,260	191,158,982	238,405,879					
	(うち受益者負担)		円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
	職員人件費(再任用以外)		円	2,475,900	2,473,200	2,493,000					
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	266,179,785	297,442,189	348,166,374						
4 環境変化等	(1) 開始年度		18 年度								
	(2) 環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度から新たに1園増えたことにより、利用児童数は増加し、待機児童対策にも寄与している。</li> <li>支払いの基準となる国の「公定価格」も年々上昇しており、運営費用が増加している。</li> <li>令和元年10月から幼児教育・保育の無償化及び東京都の多子世帯負担軽減事業が始まり、利用者負担(保育料)が減った。それに伴い、利用者負担の減額分が運営費用として増加した。</li> </ul>								

事業名称	認定こども園事業費 [認定こども園事業]			
担当部署・課長名	保育	課	管理・給付	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育園に比べ、入園金等が別途かかるため、保育料負担が重いと感じている保護者は多い。</li> <li>・園からは、保育士確保が難しい状況であるとの意見があった。</li> </ul>			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ  <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：                      ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（                      ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	前年度のスケジュールを参考に、運営費や補助金の各種手続きが効率よくできるようにする。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度のスケジュールを参考に、運営費や補助金の事務を行った。</li> <li>・補助金等の様式や必要書類の見直しを行い、園の事務負担の軽減を図った。</li> <li>・幼児教育・保育の無償化に伴い、認定こども園を利用する2号認定子どもの保護者の給食費負担が増えることになったが、市独自補助として市内認定こども園の運営費に給食費を加算し、保護者負担を増やさないようにした。</li> </ul>			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
園が運営費や補助金に係る書類を円滑に作成できるよう、記入例や解説などを作成する。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：                      )			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園のサービス内容等の認知が低く、利用希望につながらないケースもあるため、引き続き、認定こども園に関する情報提供を適宜行い、認知度を上げていく。</li> </ul>			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報・ホームページ等、様々な媒体を活用して、当該事業の周知を行い、利用を促進し、待機児童の解消を図る。</li> </ul>			